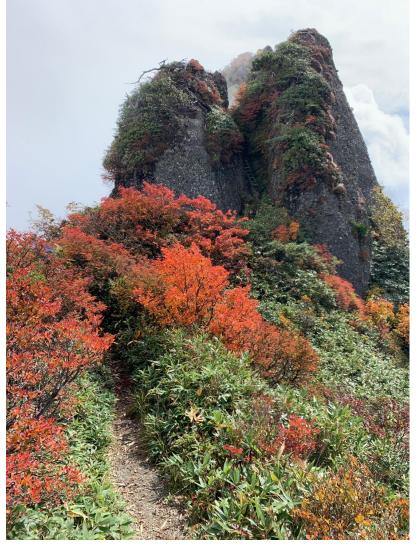
<山行報告>

八海山;紅葉の始まった越後の名峰を登る

【報告者】キーボウ

【日 時】2021年10月8日(金)

【参加者】りりい、かなちん、キーボウ



【八つ峰の岩峰群を目指す】

≪コースタイム≫

ロープウェイ登山口(9:10)~(8:00/9:05)~天狗岩(10:40)~石 鎚山頂(10:30/11:30)~2の鎖揚(11:58)~東陵分岐(11:50)~ ロープウェイ登山口(15:20)

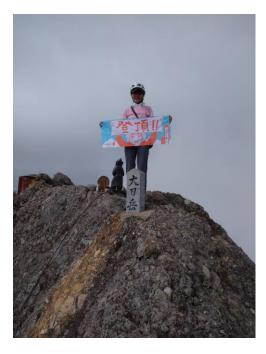
≪ 報 告 ≫

今年も、関東遠征を企画し、7月末からの北岳バットレスを目指し、計画してきたが、コロナ感染拡大に伴う山小屋の営業中止や、りりぃのアクシデントにより10月になってしまった。山小屋は完全予約制で3度の日程変更を余儀なくされた。3000m級の山では雪の気配もあるため、紅葉山行を企画し上越の岩場のある山々を目指した。第1弾として新潟県の魚沼の八海山を企画した。ここは、僕が40年近く前に過ごした会社のある地域だ。その当時は、子育てが忙しく、越後駒ケ岳や巻機山には登ったけどこの八海山には登ったことはなかった。

13 時過ぎに成田に到着し、りりいの愛車に拾ってもらい、一路越後を目指した。初日からテント泊は厳しいので、六日町の「さくり温泉」に宿泊することにした。ここは、大正解。19 時前にかなちんと合流し、楽しく交流を深めた。さすがに、魚沼コシヒカリの産地の真っただ中、ご飯がおいしい。かなちんの食べっぷりにも驚く。

8日はまずまずの天気、ロープウェイ登山口に向かった。9:00 のロープウェイ乗車し、7分で標高 1150mの登山口に到着。

この付近の紅葉はまだまだ。ゆるやかなアップダウンを繰り返し、標高 1370m の女人堂に到着。ここから300mの急登が始まる。途中、左手の崩壊した斜面に木が生えそろわず草付きになっている部分がきつねに色に紅葉している。いよいよ紅葉地帯に突入。鎖場を何度も越えて、薬師岳に到着すると目の前が千本檜小屋だ。



ここから、今日のメインイベントの八つ 峰に登る。以前、りりいとかなちんが登っ た時は南側の迂回路を通り、後半の3峰の み登ったようだ。最初の地蔵岳に登る入口 は確かに分かりにくい。目立たないところ にある標識を見つけ左上の岩場を目指す。 すぐに、地蔵岳と不動岳の鞍部に達し、まずは地蔵岳から8峰のスタート。岩場はすべて鎖があるので誰でも登れる。不動岳・ 七曜岳・白河岳・釈迦岳・摩利支岳・剣ヶ 峰と通り、いよいよ最後の大日岳は垂直の はしごを登って到達。

見渡せば、見事な紅葉の世界。絶景! 八海山の本来の山頂はこの先にある入道 岳(1,778m)なのだが、この先は普通の山なのでここで打ち切り。急な鎖場を下り、迂回路を千本檜小屋迄戻る。結構なアップダウンがあり、疲れる。これならピークを越えて戻った方が良いように思った。

朝のロープウェイで一緒だったガイドの方が僕に、「クライマーですね。千本檜 小屋までのアプローチが大変ですね」と言っていたけど、納得。岩場よりこのアプローチが、特に帰りが疲れた一日でした。

でも、最高の紅葉に恵まれ楽しい一日でした。同行の、りりい、かなちん、ありがとう。

